理工学部闘争委員会からの "アピール"

新入生、特に[illegible]

[illegible]

[illegible]国民統合のイデオロギー装置作り[illegible]

[illegible]七〇年安保改定期に向け全国学園[illegible]

[illegible]大学立法が[illegible]

[illegible]かかる今日的社会的情況のなかにおいて確認される日大斗争は[illegible]再生産過程を支える文教[illegible]路から金融独占資本段階への再編過程において明確に金融独占資本形態の内部に組み込まれている（中大、東大斗争のごとく個別教育資本をも含むものではないが）故に一年間の日大斗争における国家権力と[illegible]的激突、大衆的実力斗争が自然発生的[illegible]

た客観的情況があるだろう。一九三〇人余の日大における[illegible]日大古田体制の一時的突破口[illegible]確認が出すことができる。資本制的社会の全体制の一環としての学園における個別日大斗争においてはたとえ、一時的に社会的権力としての日大古田体制を突破したとしても社会的権力をバックにして存在する政治体制によって、個別斗争としての敗北の運命をたどるであろうことを明確に確認できる。かかる現在的情況の組織から確認できる学斗委の現在的運動は全体制からの目的意識的攻撃としていかに個別のワクを突破していくか、[illegible]普遍的斗争の個別日大における特殊的斗争の具体的表現としての古田体制に対する斗いがいかに[illegible]斗いを全国全共斗運動を創設し全日全共闘運動を通して[illegible]ねばならないであろう。日大斗争の当初有していた[illegible]自然発生的[illegible]如何に自[illegible]プロレタリアートとしての[illegible]へと転化してゆくのか、[illegible]に対して問われていることだと考える。

[illegible]学生運動を突破口として[illegible]斗争[illegible]理工系運動構築のなかから[illegible]って行かねばならない。